

わたしたちの街に新しい発見

ふ♡れ♡あ♡い

いかた

12月号

No.8
平成17年
12月1日発行

生涯学習だより

発行■伊方町教育委員会 編集■生涯学習課 印刷■(株)豊予社



11月13日(日)、伊方町生涯学習センター5階多目的ホールにおいて同センター開館記念「二宮清純講演会」を開催し、150名をこえる参加者がありました。

世界で活躍する一流アスリートのイチローや松井秀喜選手が世界で成功した秘訣や日本とヨーロッパのスポーツに対する考え方の違い等、エピソードを交え情熱的に講演されました。

今月の主な紙面

- | | |
|-----------------|-------------|
| ● 文化祭りレーカメラルボ | ● 伊方スポセンだより |
| ● 成人式のご案内 | ● 放送大学 |
| ● ライフアップ講座ご案内 | ● 町見郷土館から |
| ● 公民館だより | ● 佐田岬民俗ノート |
| ● 学校通信 | ● 図書館だより |
| ● ターゲットバードゴルフ大会 | ● 人権学習シリーズ |
| ● ふるさとウォーク2005 | ● 子ども放送局 |
| | ● 広報 文芸 |

毎月第2日曜日は「家庭の日」です。

12月のテーマ

“年越しを感謝しよう”

(実践方法)

- 1年間をふり返って、今後のよりよい家庭づくりについて話し合おう。
- 冬休みの有意義な過ごし方について話し合おう

伊方町文化の秋 佐田岬半島 文化祭りレーカメラルポ

— 三崎公民館、瀬戸公民館、町見公民館、中央公民館 —



お神楽



趣味の作品展



もちまき



箏曲グループめぐみ会

秋といえば、スポーツの秋、食欲の秋、芸術の秋とさまざまな秋がありますが、なんといっても秋は「文化の秋」です。伊方町でも10月29日を皮切りに地区公民館単位で文化祭（公民館）とに名称にちがひ（あり）が開催されました。まず10月29・30

日に「2005三崎文化祭」並びに「瀬戸公民館まつり」が、つづいて11月3日に「町見公民館まつり」、「伊方公民館文化の集い」がそれぞれの地域で開催され、10月29日から11月3日にかけて佐田岬半島に文化の紅葉がみられました。



少林寺拳法



趣味の作品展



もちまき



浜夕合唱団



【町見会場】

趣味の作品展



【伊方会場】

趣味の作品展



元気ハツラツ 二見小学校児童



威風堂々と 伊方堂々太鼓



伝統のきそん節



“奴っ子さん”

ライフアップ講座のご案内(第3回)
暮らしを彩るハーブ料理

さわやかな香りとともに、美容や健康にもよいと人気のハーブを使って、あなたのレパートリーを広げましょう

■日 時 平成17年12月17日(土) 13:30~15:30

■場 所 伊方町中央公民館 3階調理室

■講 師 松山東雲短期大学教授 峰 弘子さん

■対象者 18歳以上の男女 約30名

■受講料 1,000円程度 (材料代)

■第4回講座のお知らせ

■日 時 平成18年1月

■場 所 伊方町中央公民館

■内 容 プライティス入門

※ 詳細は次回広報で

■持参物 エプロン

■申込方法 12月9日(金)までに住所・氏名・電話番号・受講料を添え生涯学習課へ

TEL 38-0211

ひょうたん容量当てクイズ当選者発表

伊方会場の文化のついでで実施された「ひょうたん容量当てクイズ」には次の方が当選しています。

当選者には、伊方愛瓢会より『手づくりひょうたん』を贈呈しますので、伊方町湊浦松田 亀久雄ひょうたん係(☎38-1111)までお申し出下さい。

クイズの答え 10升7合又は1.8ℓ

当選者 大浜 戎藤恵美子・河野ツヤ子、中之浜 門田満喜子、仁田之浜 田中初子・木下安正、河内 高木一高・藤堂孝照、湊浦 政木香織・田中亜紀・神野亀継、九町 井上喜樹

成人式のご案内

伊方町教育委員会では、平成18年1月3日(火)に成人式を挙行する運びで準備を進めております。今年の成人該当者は昭和60年4月2日から昭和61年4月1日までに生まれた方で、住民基本台帳及び中学校卒業者名簿により調査しました。

町内在住の方には本人、町外在住の方には保護者宛に案内ハガキを送付いたしますので、多数のご参加をお願いいたします。

●問い合わせ先 伊方町教育委員会生涯学習課

TEL 38-2661

公民館だより



プロの生演奏

(金管五重奏)を堪能!!

—瀬戸公民館—

11月10日(木)、瀬戸町民センターにおいて「瀬戸フィルハーモニー交響楽団」による音楽公演が開催されました。

この事業は、次代を担う子供たちに優れた芸術に触れてもらい、豊かな感性と創造力を育成するために実施され、瀬戸地域内の児童・生徒(150人)が四国で唯一のプロオーケストラの生演奏を堪能しました。

公演では、

金管楽器(トランペット・トロンボーン・ホルン・チューバ)が奏でるそれぞれの音色が調和して一つの素敵な曲となり、児童生徒は真剣に聞かいていました。又、聞き慣れた曲には手拍



子で盛り上がるなど、約1時間という短い音楽公演でしたが、児童生徒は音楽の楽しさとすばらしさを改めて感じてくれたことと思います。今回を契機として、これから様々な音楽に接して感性豊かに成長してもらいたいものです。

婦人学級

おやつ作りと日本とアメリカの

食文化の違い

—中央公民館—

10月19日、婦人学級が開催されました。婦人学級は概ね55歳までの成人女性を対象とした学習講座で本年度第3回目の今回は、高石栄養士と国際交流員のジョシュアさんを講師に招き「簡単手作りおやつ」と題して調理実習と、日本とアメリカの食文化の違いについての話を聞きました。参加者の皆さんは、最初に着慣れたエプロン姿になり、ふわふわバナナケーキ等3品にチャレンジしました。この婦人学級は比較的若い婦人が多い

のですが、そこはさすが女性の皆さん、キッチンにエプロン姿で立つと凛とし美しくもあり、レシピを見ながらテキパキと手際よく調理をしていました。そして作ったばかりの作品(お菓子)を堪能しながらジョシュアさんからアメリカの食生活などの話を聞きました。アメリカでは、料理や家事等何でもできる男性がナイスガイ(水もしたたるいい男)と呼ばれるそうです。さすがレディーファーストの国アメリカならではの



でしようか、日本の女性が泣いて喜びそうです。アメリカの男性を見習うべきか見習わぬべきかは別として、女性や妻にそっぽを向かれないよう、もう少し思いやりを持てればより良い関係になるかもしれませんね。

紅梅学級

新伊方町を闊歩

—中央公民館—

10月24日、人生経験豊富な女性による学習講座、紅梅学級が開催されました。今年度第2回目となる今回は、4月に合併したばかりの新伊方町を探索しようというこゝとで、瀬戸・三崎地域を訪れました。瀬戸地域では、「瀬戸診療所」の他、佐田岬の尾根にそそり立つ風車の「風の丘パーク」や、まだオープンしていませんが都市と農村の交流を目的とした体験農業施設の「瀬戸アグリトピア」で宇和海を臨むオーシャンビューの素敵なログハウス等を見せられました。今度は場所を三崎地域に移し探索

する予定でしたが、瀬戸地域を闊歩しお腹の空いたご一行は、何はともあれ腹ごしらえということで、三崎の「ふあみりーれすとまりくな」でエネルギーを充填し、いざしきりなおして三崎地域を探索しました。「役場総合支所」や「阿弥陀池」、三崎漁協の「アワビ種苗センター」や「保健福祉センター」を見学しました。ここでも三崎地域を闊歩し今度は小腹の空いたご一行は、二名津の「田村菓子舗」から金太郎芋のタルトを注文し口いっぱい頬張り、それでもまだ足りない方は帰りに直接店に寄り買い足していました。こ



の金太郎芋のタルトは塩成の島津農園で取れた無農薬のおいしい金太郎芋を田村菓子舗のパティシエが無添加で精魂込めて仕上げた一品です。こうして、新伊方町の名所と食を堪能した貴婦人たちは、満足げに家路につきました。



学校通信



「豊かな学力を育む 学校づくり」をめざして

— 伊方中学校 —

「朝のあいさつをします。気持ちを込めてあいさつしましょう。」伊方中学校で初めての女子の生徒会長の号令に始まる朝礼の一場面である。平成十七年度のこれまでを振り返り、印象に残る一場面として思い浮かべている。二期期早々の運動会、炎天下での競技や応援への遅し、ひたむきな取組、遊友祭でのさわやかな歌声や伸び伸びとした演技、毎年の風景ながら、その底なしのエネルギーに圧倒されながらの子どもと教職員の協働作業である。生徒は本当に学校が好きである。ここ数年行っている生徒による学校評価でも、学校が楽しく、行事等に積極的に参加している「の項目は、他の項目と比べ高い評価を示しており、保護者・教師の評価も同様である。テレビ局のキャッチコピーではないが、「楽しくなければ学校じゃない」である。明るく、伸び伸びが本校生徒の特徴である。

本年度は「豊かな学力



郡新人総体

— 二名津中学校 —

10月1日に郡新人総体が行われました。男子は団体戦優勝。個人戦シングルスはベスト4で校内対決となり、どちらの選手にも力強い声援が送られていました。そして個人戦ダブルスでも、増田・松澤組が優勝、女子は個人戦シングルスに出場しました。部員は2年生1名で、互いに励まし合う仲間がいない状況でしたが、3位に入賞しました。

このようなすばらしい成績を残すことができたのは、一人一人が目標をもって練習に取り組んできた結果です。また、大会前日の壮行会で送られた3年生からのメッセージも選手の手となりました。「やる気・気合い・元氣・闘志・声・強気・根気・負けん気・集中・自信・団結」という言葉は、先輩から後輩に渡された、勝利をつかむバトンであったように思います。

郡新人総体に続いて、男子は全南予中学校新人総合体育大会でも優勝しました。県新人総体でも活躍する姿を楽しみにしています。来年4月に三崎中学校と統合することが決まり、彼らには新しい仲間が増えます。二名津中学校で学び、得た自信と誇りを胸に、さらに成長してほしいと願っています。

実りの秋

— 九町小学校 —

学校の近くの農園でさつまいもを栽培している。地域の方のご好意で畑を借用し、イノシシの被害にも合わず、収穫できた。少雨だったので心配したが、掘ってみると、子どもたちの顔よりも大きいものが出現し、豊作だった。

早速、おじいちゃん、おばあちゃんを招いて、「いもだんご」や「揚げぎょうざ」にして、秋の実りを味わった。普段ゆつくりふれあう時間もとれないおばあちゃん達と一緒に調理し、会話ははずませながら、ホクホクのさつまいもに舌鼓を打った。

こうして、今年も地域の方々と交流会や自然体験を通して、有意義な秋の一日を過ごすことができた。これからもふるさとの良さを発見し、ふるさとを誇りとし、愛し続ける人となることを願いたい。

午後からは、ワークいかたの方々と「ペタンク大会」を行った。ここでは、名プレー好プレー続出で子どもたちも懸命にチャレンジしたが、なかなか勝利できなかった。でも、ペタンクは年に何回かする機会があるので、子どもたちもとても楽しみにしていて実力をつけつつある。



二名津中学校閉校記念行事を開催

開校59年を迎える二名津中学校が来年の3月で閉校となることとなり、11月16日、閉校準備委員会主催による閉校記念行事が、全校生徒23人、卒業生、PTAなどの地域の関係者200名余りが出席し開催されました。

当日は「折り鶴で卒業生の数をみんなで折ろう」と、高齢者と生徒が協力しあって制作し、その数の多さに学校の伝統を感じるとともに、地域がひとつになっていました。

また第1回卒業生から在校生までの写真が体育館で展示

されるとともに、地域の園児から高齢者までが参加した航空写真の撮影や餅投げも行われました。

二名津中学校は昭和22年神松名中学校として開設され、昭和37年に現在の二名津中学校に校名変更されました。当初は教室がないため、旧青年学校校舎、神社、青年会館、柑橘倉庫を教室として使用されるなど、たくさんの人々の努力と協力によって59年の間に3,600余名の卒業生を送り出すことになりました。

餅拾いに参加した一人は、「学

校がなくなって寂しさもあるが、これからも地域でいろいろ催し物をして、温かく、元気な二名津にしていきたい」と話していました。



合併記念 ターゲット・バード ゴルフ大会を開催

10月23日(日)に伊方町民グランドで伊方町教育委員会と伊方ターゲット・バードゴルフクラブ(会長―矢野佐一郎)共催により、伊方町合併記念ターゲット・バードゴルフ大会を開催し、管内1市2町より51名が参加しました。

この大会は、合併により新町が誕生したのを記念し、ターゲットバードゴルフ愛好者の親睦と、地域のニュースポーツの振興を図ることを目的に

実施しました。

ターゲットバードゴルフは、軽スポーツとして近年普及したニュースポーツで普通のゴルフクラブで羽根付きボールを打つミニゴルフの一種ですが、当日は時々強い風が吹くあいにくの天気のためボールが流され大幅にコースを外れたりし参加者は、四苦八苦しながらプレーしていました。風が吹くコンディションの中でも、特設コースではホー

ラインワンが5名出るなど、レベルの高い大会でした。



選手宣誓の長野さんと田丸さん

ふるさとウォークで65名が汗を流す

10月30日(日)伊方町体育協会伊方支部主催、伊方町・伊方町教育委員会・伊方町健康づくり推進協議会・伊方町国民健康保険共催により、ふるさとウォーク2005が伊方地域で行われました。

このウォークは、地域の自然の中で、歴史、文化にふれあいながら歩き、併せて日頃の運動不足の解消、健康増進を図ることを目的に毎年コースを変え開催されています。

今年は、九町小学校をスタートし、国道下の農道、町道を西に歩き亀ヶ池を経由して九町小学校に帰る9.5kmを歩くコースでした。

前日は雨天でしたが、当日は



元気よくスタート

快晴の日和となり、距離の長い健脚向きのコースに、4才の保育園児から83才の老人まで幅広い年齢層の方65名が参加し、個人の体調に合わせて歩いていました。

参加者は、実りの秋を迎え、収穫真っ盛りのみかんの色づいた樹園地が広がる中を宇和海の絶好のロケーションを見ながら歩き、途中亀ヶ池温泉で足湯につかり疲れを癒したりしていました。

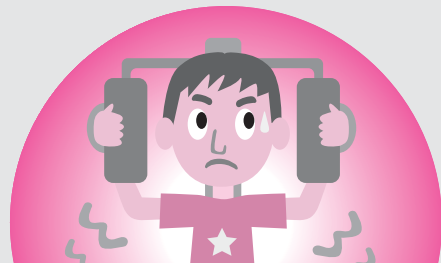
コース沿いでは、所要所にポイントを設け、スタンプラリー、歩数当てクイズや俳句を詠んだりし、さわやかな1日を過ごしました。



九町小学校ちびっこ軍団

伊方スポーツセンターをより

年末年始のスポセン休館日のお知らせ
12月29日(木)～1月3日(火)まで
休館とさせていただきます。



12月1日(木) バランスボールの日

- 時 間 ①10:30～11:30
②13:30～14:30
③19:30～20:30
- 対象者 一般成人男女
- 定 員 10名
- 受講料 500円/回

12月6日(火) 水中ウォーキングの日

- 時 間 ①10:30～11:30
②13:30～14:30
③19:30～20:30
- 対象者 一般成人男女
- 定 員 10名
- 受講料 500円/回

トレーニング教室受講生も、随時募集いたしております。

- 詳しいお問い合わせは、下記にご連絡下さい。
- 伊方町役場(生涯学習課) ☎ 38-2661
- 伊方スポーツセンター ☎ 38-1100
- ☎ 38-0776



☆女性団体連絡会視察研修☆

11月9日(水)伊方町女性団体連絡会役員等18名の参加で町内視察研修を行いました。

この研修は町合併に伴い設立した、新「伊方町女性団体連絡会」による初めての行事で、町内の各施設を見て廻り、今後の活動の参考にと実施したものです。

まずは、伊方ビクターズハウスにおいて、原子エネルギーについて学んだ後、発電所へ行き、徹底した監理のうえ、安全運転が行われている様子を見学しました。

次に一行が向かったのは、町第三

セクターである(株)クリエイト伊方

トマト養液栽培施設。収穫、選別されたトマトのフレッシュな香りに包まれた工場内で、コンピューター管理による栽培技術について説明を受けました。

その後、隣接の町見郷土館へ移動しました。今回、初めて訪れた会員も多く、学芸員の案内の元、熱心に展示品の見学をされていました。

続いて、三机須賀公園内の「九軍神碑」を視察。先人の犠牲を偲び、平和のありがたさをおぼえられました。

最後に旧大佐田小学校跡を利用し



た「オリコの里」を訪問し、機織りを体験しました。佐田岬半島の財産である「裂織り」を後世に伝えるため尽力されている保存会の方々の熱意に触れ、研修を終えました。

放送大学で学んでみませんか？

放送大学はテレビ・ラジオで授業を行う通信制大学です。さまざまな年代や職業の人達へのニーズに応える科目を360以上ご用意しております。大学や大学院の授業料目を1科目から気軽に学べるチャンスです！この機会に放送大学で学んでみませんか！

★放送大学の教養学部と大学院の特長の一部をご紹介します。

～教養学部のご紹介～

- ①入学試験はありません。
- ②15歳以上ならば誰でも選科履修生・科目履修生として入学でき、約300科目の中から好きな科目を1科目からでも学べます。
- ③18歳以上で大学入学資格をお持ちの方は、誰でも全科履修生として入学でき、卒業すると学士の取得ができます。

学 生 の 種 類	入学料	授業料
科目履修生 (6ヶ月在学し、希望する科目を履修)	6,000円	1単位あたり 5,000円
選科履修生 (1年間在学し、希望する科目を履修)	8,000円	(テキスト代 含む)
全科履修生 (4年以上在学し、学士の学位の取得を目指す)	22,000円	

～大学院のご紹介～

- ①18歳以上ならば誰でも修士選科生・修士科目生として入学でき、約60科目の中から好きな科目を1科目から学べます。

学 生 の 種 類	入学料	授業料
修士科目生 (6ヶ月在学し、希望する科目を履修)	12,000円	1単位あたり 10,000円
修士選科生 (1年間在学し、希望する科目を履修)	16,000円	(テキスト代含む)

★只今平成18年度第1学期学生を募集しております。詳しい資料を無料送呈いたしますので、お気軽にお問い合わせください。

出願受付期間：平成17年12月15日～平成18年2月28日

〒790-0826 松山市文京町3(愛媛大学内)

放送大学愛媛学習センター TEL 089-923-8544

放送大学ホームページ <http://www.u-air.ac.jp>

スケッチ

資料の一点一点につけられたラベル。しっかりした資料の整理も博物館の大切な役目のひとつです。



◆ 今月のきょうどかん ◆

2005年 12月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

■—おやすみ

休館日は都合により、変更する場合があります。

「展示室たんけん」やっています。

郷土館の常設展示がもっと楽しめる『展示室たんけん』シートをおきました。第1段は、展示室内の動物を探す「みつけてみよう！」シリーズ。これで資料をじっくり「見る」と、きっと見慣れた道具でもいろんな発見があるはず。子供も大人も楽しめます。やってみたい方、来館時に受付へお申し出ください。



町見郷土館から

TEL・FAX 39-0241 (不在の場合38-2661生涯学習課) / 開館時間9:30~16:30 / 休館月ほか

亀ヶ池異聞

愛媛県最大のラグーン(潟湖)海の入江がふさがってできた池ー亀ヶ池の大ガニ伝説は有名です。むかし九町池(現在は埋立にいた一匹のカニが、体が畳八畳敷き程の大きさになり、あまりに窮屈なので、ある年の大晦日の夜、亀ヶ池にいたエンコ(河童のような妖怪)と相談して、棲む場所を交替してもらいました。広い池に移ったカニはうれしくて池の中を動き回り、池をわたる船をたびたび転覆させてしまします。そのため、お宮の宮司によって、池の底に封じ込められてしまったという話です。じつは今回、これと別に「八畳敷き」の理由を説明する話を聞くことができました。

ある年、池のそばを通った宇和島の殿様が、古屋敷の人から池に魔物がいるという話を聞き、家来のブスケという潜りの名人に調べさせました。池に入ったブスケはたった8回息継ぎに頭を出しただけで池じゅうを調べあげ、水中にお殿様の腰にある大きな瓢箪をひっくり返したくらい大きな目があつたと報告します。するとお殿様は、それならきつと畳八畳分はあるカニであろうと言ったというお話です。

佐田岬民俗ノート 7

るようになったというお話です。これは加周の樗尾象志さん(大正13年生まれ)が、子どもの頃聞いた話だそうです。単なるカニの話でなく、大洲との関係も暗示する点、大変興味深い伝説です。例えば池の自然だけでなく、こうしたさまざまな伝説、その背景の歴史も文化も含め、地域の財産、大切に伝えたいものです。



▲亀ヶ池 (2004年5月撮影)



伊方町立図書館



(愛媛県立図書館所蔵資料より)



(愛媛県立図書館所蔵資料より)



本との出会い！人との出会い！伊方町立図書館を利用していただきありがとうございます。
現在、開館記念特別展示と銘打って、「日本の教科書―そのうつり変わり―」、「人物往来―高橋新吉氏と小川文一郎氏―」と題して、資料を整えました。多くの皆様の御来館をお待ちしております。

1、会場 伊方町立図書館 2階 展示コーナー
2、期間 平成17年10月1日(土)～12月25日(日)
3、展示内容

- 江戸中期から昭和前期にいたる修身を中心とした教科書と現在の教科書
- 郷土にゆかりのある高橋新吉氏と小川文一郎氏との通信

■高橋新吉氏
1901年～1987年没。伊方町出身。
詩人、小説家。ダダリストの先駆者。
1973年に芸術選奨文部大臣賞、1985年に藤村記念歴程賞などを受賞。

■小川文一郎
1911年～2003年没。元小川医院医院長。
主な著書に「ダダリスト新吉の詩」、「高橋新吉詩集」などがある。

今月の新刊

- 亡命者 ザ・ジョーカー/大沢 在昌
- 新リア王 上・下/高村 薫
- 告白/チャールズ・R・ジェンキンス
- きみの友だち/重松 清
- 恋せども、愛せども/唯川 恵
- やりたい仕事がある！好きな仕事向いている仕事741/池上彰 監修
- 知っているようで知らないものの順序
- ムーミンのたからもの
- そして竜太はニャーと鳴く ほか

図書館からのお願い

図書館の資料はみんなのものです。食べながら本を読んだり、ページを破いたり、折ったりせず、他の人がつかうことも考えて、大事にあつかってくださいネ。

12月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

■…休館日

利用案内

- 開館 日/火曜日～日曜日
午前9時30分～午後6時
- 休館 日/毎週月曜日(月曜日が祝日のときはその翌日も)
祝日・月末図書整理日・年末年始(12月29日から1月3日)・蔵書点検日

伊方町立図書館

伊方町湊浦1992番地
伊方町生涯学習センター2階
TEL(0894)38-0607 FAX (0894)38-0617





人権学習シリーズ 192

おとなへの「すすめ」

塩成小学校 矢野俊治

先日、近隣市町村にある大型店舗で、今までにないことを経験しました。2階と1階を結ぶ階段に、数名の若者が座り込んでいます。本人たちは楽しそうですが、他の客は楽しくありません。しかたなく我が子とともに、せまいところをすり抜けるように通りました。

そのとき思い出した、ある「すすめ」を紹介します。非行防止の講演会などで紹介されるものですが、人権確立・差別解消の立場から見ても大切な内容が含まれています。

「子どもを悪くする法」より

- 1 幼いときから冷たくあしらうこと。スキンシップは禁物。
- 2 欲しがる物は買い与え、うるさく世話もやくこと。
- 3 失敗は理由も聞かずしかりとばすこと。たたくのはもっとよい。
- 4 いっしょにご飯は食べない。子どもの話題には無関心でいること。
- 5 子どもがどこでだれと遊ぼうが気にしないこと。
- 6 兄弟姉妹やよその子と比べて、「おまえは馬鹿だ。」と言うこと。

- 7 暴力をふるう人や多数派の声に従うことを教えること。
- 8 子どものよい面や努力はほめないで、悪事をほめること。
- 9 子どもの前で、父母はちがう意見を言うこと。また、父親は、子育てからうまくにげること。
- 10 「お金がすべて」と教えること。
- 11 子どもの前で、教師、ご近所、友だちの親などの悪口を言うこと。
- 12 父母や祖父母がいがみあい、ののしりあうこと。

これは、アメリカのデンバーの少年裁判所が50年ほど前に提案したものだそうです。(一部、平易なおとしています。)

子どもと過ごす時間が多い年末・年始ですが、かえって大人は忙しいかと思います。そんなとき、上の内容を思い出していただければ幸いです。

もちろん、みなさんは、こうしてはいけないとお気づきのことと思います。周りの者に大切にされ、認められている者は、他者を大事にすることもできましょう。ぜひ、逆の内容を実践してみてください。

	3日 生放送・VTR放送☆	10日 生放送☆	17日 生放送☆	24日 生放送☆
11:00	Let's open the door! ②②	Let's open the door! ②③	子ども放送局 ディレクターズ・キャンプ企画番組	Let's open the door! ②④
11:05	子ども放送局 ニュース にじいろ玉手箱	ゆめ 夢スタジオ 不可能はいつかの う 能になる ～冒険サイクリスト あんどうひろまさ 安東浩正さん～	全国の小・中学生が あつま 集まって企画・取材・ 編集したものをつく たみんなで伝える番組 だよ!	チャレンジ教室 ものづくり 身近に広がる音の 世界 ～手づくりドラム を演奏しよう～
11:15	「おしえてニュース」 「なんでも やってみよう」 めざせ! 海の生きもの 博士!	冬のシベリアを248 日かけて自転車で横断 した安東さん。たった ひとりの厳しい旅、そ う 中で出会った人々や 美しい自然について 話してくれるよ。		ドラムの材料は、な んと水道管などに使わ れる塩ビ管! どんな音 がするの? 講師 多田広巳さん
11:30	「子ども特派員報告」 「受信会場だより」 など。 全国の体験活動情報が ぎっしり。			
11:45	(11:45)	(11:45)	(12:30)	(12:00)
	再放送 3日 13:30～ 7日 15:30～	再放送 10日 13:30～ 14日 15:30～	再放送 17日 13:30～ 21日 15:30～	再放送 24日 13:30～ 28日 15:30～

みんな来て! 見て! 参加してね!

子ども放送局



生涯学習センターでは、三階児童遊館において、子ども放送局を放映しています。楽しい番組が盛りだくさん。皆さんの参加をお待ちしています。

報 文 芸

俳 句

町見野の花句会

木枯しに耐えて迎えん喜寿の春 松田紋司朗
文化祭喝采浴びる艶姿 上口久志
松手入れ梯子を降りて庭の景 上田文男
背を丸め杖が先行く秋遍路 浜田保仁
冬の梅水平線は模糊として 山口朝子
後の月星一つ連れ山の端に 古田かずあ
干し網の香の満ちてをり秋の浜 古田シヲ
ふる里に父母在しけり亥の子唄 岩見愛子
手に掬う夕日ひえびえ露天の湯 菊池あつ子
秋深し戦を語る古兵殿 大沢昭子
秋祭終えて奴の肩車 川縁秀子
猪狩の策さまざまに秋深む 林そで子

瀬戸句会

佇みて一と葉舞ひ落つ庭もみじ 山田美恵子
暮れてなお人の輪とけず鹿踊り 岩井ふみえ
秋日和歩け歩けと亀ヶ池 得能力ツミ
うすもみじオリコの里へ連れ立ちて 得能悦子
婆々が来て又ばばが来て日向ぼこ 西山美津子
母しぐれ市井の髪や二〇三 城岡正治
水かれて湖底に古き村の跡 丸川一彦
診療を待つ間病室菊香り 長尾金満
コスモスの中でたわむる孫姉妹 佐々木サチ子
浦里や入江に映ゆるはぜ紅葉 佐々木忠雄
密柑山お礼肥えて雨を待つ 浅井ミドリ
演台に樹齡の古き豆木株 大星幸子
岬に生き肅々濡れる野菊かな 吉見福子
冬立ちて暖かき日やつわの花 吉上マツユ
髪丸め襟元涼し秋日和 小関秀次
秋の海遠きいさり火見えかくれ 本田光男
秋雲を日かな眺めて飽きもせず 佐々木照

さざなみ句会

立冬近くねこも身近にうづくまる 岡本登
ゆつたりと母口中の水羊羹 佐々木礼子
落日の後切なくて牡蠣を買う 竹上正也
柿・柿・柿・店主の頬も赤くうれ 井上幸子
閉校と共に翔く子らの夢 小西紀代子
雪融けに白く泡立つ下水かな 高茂弘子
山の幸分けてイノシシ近づけり 中谷はる子
農継ぐ子ありて嫁なきみかん安 中谷段々子
日の本も天災地変去年今年 中谷段々子
神木の中に散りゆく銀杏の実 宮本マサ子
バス待てば時間も忘れ柿紅葉 松本光女
花芒海に向かいて首振れる 宮部タミエ
閉校の準備肅々神無月 今川キクエ
甘藷掘るや時計の要らぬ日曜日 大谷勉
初あられ妻は厨に急ぎ立つ 阿部八重
大楠が守るふるさと伝宗寺 中村豊
今日こそは賀状書くぞともう 石田満
師走

閉校の足音迫る初冬かな 井上靖
立冬の朝山を見て背を伸ばす 竹上正也
冬なのにつないだ手と手はあたたかい 大成由香
賀状書く年に一度の重みかな 川口篤夫
行く秋を偲びて一人佇まん 神原貞規
句にならぬ小春日和の暑さかな 安房伸己
冬待ちてサンタクロースにメル打つ 渡邊由紀
寒椿岬の風受け春を待つ 山内徹
車窓より紅葉愛でて旅たのし 加藤尚子
風車舞うアナタも変われそう 葉月渚
啄木鳥や見張良き木を選びけり 大川昇太
台風にみかんやるまい家守れ 今川又一
月の磯ひとりぼっちの人魚めく 山内須磨子
崖芒みな一様に穂を垂る 山内良子
離れ住む家郷恋しき冬の月 笹田吉子
秋の空瀬戸に文化の風ふきぬ 丸川一彦
都来てあばれる海よこいしくて 結城励子
閉校の熱き思いを折り鶴に 小西紀代子

川 柳

伊方町川柳会

わが育て溢るる菊をくぼり冬 谷口ハナエ
大根引くふんばりきかぬ足叱り 中谷はる子
山痩せてメロディーライン猪走る 木下一昭
満々と湛えてダムは驕らない 上田文男
逆風に向かう背中に友の声 矢野佐一郎
若夫婦子育て家事も助け合う 池田君子
年を経てひょうたんの艶格上 松坂正子
ちよっと気取り防犯カメラの前通る 木戸恵津子
叶うこと少いけれど夢捨てず 篠川佳津子
毎日が秋とは名のみ玉の汗 菊池真志江
方言の飛び交う会話クラス会 門田千枝
真直ぐが好きで丸みの無いお人 梶谷芳泉
「備考」川柳愛好者の皆さん「新」伊方町一円にて投句を受けています。
川柳会(係) 梶谷芳久
三八一〇二九八